

住民監査請求が受理され審議に入る

委託調査について公正な監査を

中野駅周辺まちづくり計画
住民監査請求の会

NEWS Vol.2
2006.10.10

代表・小木曾仁夫
3389-6568

2006年の報告書の半分は、前年度報告書の丸写しではないのか

三菱総研 「丸写しの事実はない」

中野区 「同じ表現あっても問題ではない」

★食い違う両者のコメント

中野区が三菱総合研究所に委託し、今年3月に納品された「中野駅周辺まちづくり推進委託報告書」の半分が、前年に納品された報告書と酷似しているとして9月19日、私たちは住民監査請求を起こしました。

9月21日の産経新聞（裏面参照）によると中野区は、報告書の中心はランドデザインの調査なので「技術的な都市計画の部分で前年の報告書と同じ表現があるのは問題ではない」と、報告書の内容に同じ部分があることを認めるコメントをしているのに対し、三菱総研は「丸写しの事実はない」と否定、1,300万円もかけた調査委託の基本的な内容について、両者の見解には食い違いがあります。

今回の監査請求で警大跡地開発の進め方に「不当・不法」性が指摘されたのですから、計画は一時凍結してでも、真相究明に全力をあげるべきではないでしょうか。

意見陳述の日程が決まりました ぜひ傍聴してください！

日時

10月19日(木)

午後1時30分～2時30分

場所

中野区役所4階
区議会第4委員会室

請求者による意見陳述が行われます。より詳細に調査委託の問題点をわかっているだけの機会です。一般の傍聴ができますので、ぜひ傍聴してください。

経過と今後の予定

9月19日：住民監査請求提出

20日：記者会見

28日：杉並区の住民団体・住民が中野区議会
全会派に真相究明の要請文提出

10月4日：監査請求書受理

19日：請求者の意見陳述

11月20日頃：監査結果の決定

中野区議会全会派に真相究明を要請

—開発による影響を受ける住民団体・住民ら—

9月28日（木）、警大跡地の開発によって住環境への影響を強く受ける杉並区の住民団体・住民が、中野区議会の全構成会派を回り、文書と監査請求書を添えて、真相究明を要請しました。

各会派ともに、「幹事長にお話を伝えておきます」「読んで検討させていただきます」などに対応しました。今後この問題が議会でどう取り上げられ、真剣な真相究明がなされるのか、監査請求の会は厳しくチェックしていきます。